

# 序

「指導してくれる人がいない」「実際の検査を見てみたい」「ちゃんとできるか不安だ」「手順書が欲しい」。血管エコーのハンズオンセミナーや施設研修に参加された方からよく聞く言葉です。私が超音波検査をはじめた頃は、血管エコーで評価するのは頸動脈ぐらいでしたが、その後、深部静脈血栓症や閉塞性動脈硬化症の診断ツールとして血管エコーは広く発展してきました。ニーズの高まりに伴い、血管エコーの教本は増えましたが、書籍を読むだけでは、実際の検査方法がなかなかみえてこないことも多いと感じています。例えば、どんなに優れた演奏家でも、はじめは何度も曲を聴き、実際の演奏をみて、見よう見まねで鍛錬していくことで、ときめくような演奏が可能になっていくのだと思います。検査手技もこれと同じです。

そこで、本書は、実際の検査方法や代表的疾患の画像、および評価法などを書籍でみて、さらに検査手技を動画で見ながら「実際にやってみる」ことで、検査習得の一助となることをねらいとしています。料理のレシピ本と動画サイトが一緒になったイメージでしょうか。血管エコーの練習や知識確認の際に、そばに置いて活用していただけると幸いです。

執筆は私と元部下の藤崎君の2人のみで行いました。彼と一緒に仕事をし、切磋琢磨した時間が、こうして成果物となったことは何よりの喜びです。そして、被験者役や撮影に協力してくれた部下たち、私たちの乱筆乱文を見事に編集してくれた、羊土社の大家様と森様に深く感謝いたします。

2020年12月

東邦大学医療センター大森病院 臨床生理機能検査部  
八鍬恒芳